



第 112 号(平成 30 年5月 28 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成 30 年中の山岳遭難発生状況(平成 30 年1月1日～5月 20 日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 30 年	65	10	2	33	32	77	7
平成 29 年	80	17	1	46	34	98	19
前年同期比	-15	-7	+1	-13	-2	-21	-12
内)BC	-15	-2	+1	-4	-20	-25	-12

山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	7	10.8%	1		4	2	7
	後立山	17	26.2%	4	2	8	6	20
	その他	6	9.2%			2	5	7
	計	30	46.2%	5	2	14	13	34
中央アルプス	7	10.8%	1		1	5	7	
南アルプス	2	3.1%				2	2	
八ヶ岳連峰	11	16.9%	3		10	6	19	
その他の山岳	15	23.1%	1		8	6	15	
計	65		10	2	33	32	77	

態様別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	23	35.4%	8		21	1	30
転倒	7	10.8%			7		7
病気	3	4.6%				3	3
道迷い	16	24.6%				18	18
落石		0.0%					0
雪崩	1	1.5%	1				1
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	5	7.7%				8	8
不明・他	10	15.4%	1	2	5	2	10
計	65		10	2	33	32	77

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下					0	9人 17.0%				3	3	10人 41.7%	3	19人 24.7%
20代				2	2				1	3	4		6	
30代	1		5	1	7		1		1	1	3		10	
40代	5	0	5	6	16	29人 54.7%			5		5	9人	21	38人 49.4%
50代	1	1	5	6	13				3	1	4	17	37.5%	
60代	2		3	4	9	15人 28.3%				2	2	5人	11	20人 26.0%
70以上		1	3	2	6				2	1	3	9	20.8%	
計	9	2	21	21	53		1	0	12	11	24		77	
比率	68.8%						31.2%							

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
5月16日	八千穂高原スキー場	85	女	滑落	負傷	山菜採り中、同行者とはぐれ、滑落、負傷
16日、南佐久郡佐久穂町の山で、山菜採りで入山したまま女性 A さん 85 歳が行方不明となり、17日、警察、消防等により発見救助され、足に軽傷を負っている模様です。						
5月16日	中央アルプス越百山	58	男	道迷い	無事救出	単独で、南駒ヶ岳から下山中、道に迷い行動不能
5月17日	北アルプス鹿島槍ヶ岳	20	女	滑落	負傷	大谷原登山口から鹿島槍ヶ岳へ向けて登山中、滑落、負傷
<p>17日、北アルプス鹿島槍ヶ岳赤岩岳尾根高千穂平付近で、女性 A さん 20 歳が滑落して行動不能となる山岳遭難が発生し、18日、県警へりで救助されましたが、頸椎骨折で重傷の模様です。</p> <p>上記遭難現場の状況</p>						
						
5月20日	上田市丸子地籍金鳳山	61	男	道迷い	無事救出	単独で、金鳳山から下山中、道に迷い行動不能
5月20日	北アルプス燕岳	42	男	滑落	無事救出	燕山荘から合戦小屋へ向けて下山中、滑落
20日、北アルプス燕岳で42歳の男性 A さんが足を滑らせて滑落し、行動不能となる山岳遭難が発生し、山岳遭難防止対策協会の救助隊員が救助しました。						

山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

この時期は、稜線上には残雪がなくても、樹林帯の中には残雪があるため、登山道が分かりにくい場合があります。道迷いや滑落などに、十分注意する必要があります。登山を計画する場合は、登山する山域の積雪状況や危険箇所などを確認し、残雪がある場合はピッケルとアイゼンを携行し、必要に応じて適正に使用するようお願いします。また、登山中は、登山地図やコンパスなどを利用し、こまめに現在地を確認するなど、慎重な登山を心掛けてください。

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝